

実践記録

学校 / 学年	小学校 / 3 年	
教科等：単元名	「ホームページの落とし穴」	
キーワード	情報モラル 安全	
情報モラル指導 モデルカリキュ ラム表における 目標	分類	☐ 情報社会の倫理 ☐ 法の理解と遵守 ☒ 安全への知恵 ☐ 情報セキュリティ ☐ 公共的なネットワーク社会の構築
	大目標項目数字 大目標項目内容	d3：情報社会の危険から身を守るとともに、不適切な情報に対応することができる。
	中目標項目番号 中目標項目内容	d3- 1：予測できる危険の内容が分かり、避ける。
授業会場	☒ パソコン教室 ☐ 普通教室 ☐ 特別教室〔 〕 ☐ その他〔 〕	
学習の目標	インターネットの使い方を覚える。 いろいろなホームページを見ながら、全ての情報を鵜呑みにするのではなく、中には誤った情報や危険もあることを知り、気をつけることを考え、ホームページを閲覧する際に、その信憑性を考えたり、予測できる危険は避けることができる。	
使用教材	教材名	School Online：「はむはむのオンライン教室」の中の「ホームページの情報モラル講座」
	製作者	(株) Benesse
	入手先 (URL 等)	http://www.teacher.ne.jp/students/index.html

○展開

	学習活動	指導 評価
導入	1 「インターネット」を使って自分の好きなものを検索してみる。	・初めての子供が多いので、一つ一つ丁寧に説明していく。 ・子どもたちの興味のあるアニメや漫画などについてのホームページを見ていく。
展開	2 「はむはむのぼんライン教室」の中のリンクを全員でどうなるか予測しながら一つずつ開いていく。	・開く前、または開いてから、そのホームページの信憑性やクリックした後に起こることなどを考える。 ・個人情報を漏らすとどのようなことが起こるのかを考える。ホームページの情報の信憑性について考えることができたか。個人情報を流すとどういう事が起こるか考えることができたか。 危険を予測したり、避けるためにはどうしたらよいか理解できたか。
おわり	3 今後、ホームページを閲覧する際に、どのようなことに気をつけたらいいか考える。	予測される危険について知り、避けていかなければならないという思いを持てたか。

○指導のポイント・留意点

- ・どのような危険があるのか、あらかじめみんなで予想してからクリックして進めていくようにする。

○授業の成果

- ・初めてインターネットを体験した子どもがおよそ半数であったので、一つ一つ丁寧に説明をしていったので、時間がかかってしまった。また、ローマ字入力でも手間取ってしまい、結局、予定の半分も進めることができなかった。
- ・あらかじめ予想を立てさせたが、経験が浅いので、期待したほどの意見は出なかった。インターネットの利便性を知らないで、インターネットの危険性だけが印象に残ってしまったようにも思える。ある程度、使いこなせるようになってからの方がこの教材は良かったようにも感じる。4 学年以上が適当だろう。ただ、個人情報の漏洩で起こりうることはよく理解できていた。